



輝け！北っ子！

文責：校長 大内雅之

笑顔つなごう 二本松 プロジェクト ～感謝の気持ちをあらわす～

二本松市教員委員会主催の「えがお つなごう 二本松」のプロジェクトに、今、北小では各学年で取り組んでいます。このプロジェクトは、「コロナ禍の中、人のため、社会のために頑張っている人や施設等に「応援メッセージ」送ることで、今の閉塞感を打破するとともに、子どもたちが前向きに生きる力や他者を思いやる心を育てる。」ことを目的としたものです。新型コロナウイルス感染症が猛威を振るっている今だからこそ、できる学びもある、という考えです。医療従事者はもちろん、マスクを作ってくれている人、生活が困らないようにお店を開いてがんばっている人、学校休業中面倒をみてくれた家族・・・その他、自分たちはいろいろな人の手助けの中で生きていることを気づくまたとないチャンスとも言えるのではと考え、このプロジェクトに参加することにしました。



5日には、5年生が「メッセージ付きのしおり」作り、担任が病院や図書館などに届けました。市役所や男女共生センターにも届ける予定でいます。これから、他の学年も準備が整い次第、「えがお」を届けたいと思っています。

心優しい取り組みで、二本松が笑顔で溢ればいいなと思っています。

学校生活の一コマから ～優しさ溢れる行動に感動～

子どもの登校に合わせて、私は校門前に立ち、子ども達とあいさつを交わしています。子ども達と接する時間は、あいさつを交わす本当に短い時間ですが、「全校生」の様子が観察できる、私にとってはとても貴重な時間となっています。(本当は、地域で「見守りボランティア」として活動されている方々の方へ向かい、ご挨拶、感謝の言葉を伝えたいところなのですが、上記のような理由で今のところ校門前に立っています。ご容赦ください。)

今朝も、同じように校門前に立って子ども達を迎えていると、ゆっくりと歩く5年生の通学班の班長さんに目がとまりました。よく見ると、1年生と手をつなぎ、1年生のペースで歩いていたのでした。ちょっと気になって私は、



「どうして手をつないでいるの？」

と尋ねるとその子は

「1年生が歩道の段差や道路に埋められている金網等に足をとられて、転ばないようにです。」と答えてくれました。

優しさ・気配り、上級生としての自覚・・・感動。心がほっこり。いい朝のスタートが切れました。

保護者の皆様からの声をお待ちしています。

～学校に対するご意見・ご感想等お気軽にお寄せください(または assist.nihonmatsukita-e@fcs.ed.jp まで)～

..... 切 り 取 り 線